

<p>8 【継続】</p>	<p>【地域医療の確保】</p> <p>1. 人口減少・少子高齢化に対応した財政措置拡充 2. 医師確保困難地域に対する財政措置拡充 3. 地域医療の確保策にかかる指導・助言</p>	<p>町立病院では24時間365日対応の救急医療や在宅診療を担っています。将来的に病院が町で唯一の医療機関になることが予想されます。持続可能で安定した運営が可能になるための支援が求められます。</p> 
<p>9 【継続】</p>	<p>【新型コロナウイルス感染症対策への支援】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、</p> <p>1. 経済活動回復に必要な財政支援の充実 2. 感染症対応に係る医療機関への支援</p>	<p> 終息まで相当な期間を要すると言われており、疲弊した経済や住民生活を回復するためには、長期的な取り組みが必要です。また感染症の影響で町立病院の経営が著しく悪化しています。地域医療を守るため財政支援の強化が必要です。</p>
<p>10 【新規】</p>	<p>【グリーン社会の実現に向けた施策の充実】</p> <p>グリーン社会実現に向け、</p> <p>1. 再生可能エネルギー導入へ施策の拡充・充実 2. グリーン社会実現のため、技術開発等の働きかけ</p>	<p>再生可能エネルギー導入を進めるためのコスト負担が大きい現状です。また、幅広い事業者が取り組めるような技術開発と社会実装の加速化に向けた支援の拡充が必要です。</p> 
<p>11 【継続】</p>	<p>【木材の安定供給体制構築の支援強化】</p> <p>1. 森林施業や路網整備、高性能林業機械導入等、木材の安定供給体制の構築をはかる支援など 2. 都市部での県産木材利用など新たな需要創出</p>	<p> 公共施設の木材利用に取り組み、一般住宅等の町産材利用に補助金を出しています。安定的に木材を供給するためには新たな使いみちを見つけなくてはなりません。</p>
<p>12 【継続】</p>	<p>【森林境界明確化事業に対する支援】</p> <p>民有林における航空レーザー測量の実施や県補助事業の創設など、森林境界明確化の支援</p>	<p>現在の取り組みでは1年間で50haが限界です。航空レーザーを活用して、測量から明確化に必要な地形情報及び森林資源情報の解析まで実施するには自治体にとって大きな財政負担となります。</p> 
<p>13 【新規】</p>	<p>【国道348号の高規格化による再整備】</p> <p>利用者や近隣住民の安全・安心を確保し、地域生活圏の発展と地方創生に寄与するため、国道348号の高規格化による再整備をはかること</p>	<p>国道10kmあたりの事故発生件数と死者数が県内ワーストレベルです。令和2年7月豪雨では滝野地内で延長100mを超える範囲の法面崩壊と歩道の欠損・崩落が発生しました。早期の課題解決と高規格化による再整備が必要です。</p> 
<p>14 【継続】</p>	<p>【主要地方道長井白鷹線道路改築事業の推進】</p> <p>1. 荒砥橋工区の早期完成 2. 荒砥橋工区以東～役場前区間の早期道路改良 3. 無歩道区間への早期歩道設置</p>	<p>白鷹大橋から東への役場前につながる道路には、多くの住民から道路改良の要望が寄せられています。早期の着工と、通学路でもある無歩道区間について安全のための歩道設置が待たれます。</p> 
<p>15 【継続】</p>	<p>【国道287号道路改築事業の整備促進】</p> <p>1. 国道287号菖蒲地内の道路改築事業推進 2. 国道287号下山地内の道路改築事業の早期着手</p>	<p> 菖蒲・下山地内には依然として狭い個所や急カーブ、歩道の未設置区間があります。児童生徒及び地域住民の安全確保をはかるためにも早急な改修が望まれます。</p>
<p>16 【継続】</p>	<p>【長井～白鷹間西廻り幹線道路整備早期着工】</p> <p>産業振興や職住近接等の生活環境を整えるうえで重要な役割を果たす、長井～白鷹間の西廻り幹線道路整備について早期に着工すること</p>	<p>「山形県道路中期計画2028」で、2019～23年の間に調査着手とされており、令和2年度には、一部調査も実施されました。新潟県から宮城県につながり東北中央道や国道13号の通行に支障が生じた場合の補完的機能も果たします。</p> 
<p>17 【新規】</p>	<p>【GIGAスクール構想による個別最適な学びの充実】</p> <p>1. ICTを活用した次世代型教育展開のため支援拡充 2. 学習指導員等の学校への配置や専門的な知識や技能を有する専門家を計画的に配置すること</p>	<p> タブレット端末や使用するソフトウェアの更新に係る費用の負担が課題です。また、教師が授業づくりやICTを活用した次世代型の教育に力を注ぐため専門的な知識や技能を有する人材を配置する必要があります。</p>
<p>18 【継続】</p>	<p>【県立荒砥高校魅力化計画の推進への支援】</p> <p>県立荒砥高等学校魅力化計画の推進に必要な専門家やコーディネーターに係る支援、情報提供、助言</p>	<p>1学級減となった同校の存続に向け、地域連携協議会を中心に「荒砥高校学校魅力化計画」が策定されました。存続されることで町内企業の活力、地域全体の活力を維持していくことにつながります。</p> 